

さわらび

2020. 12. 25 No. 29 文責：大塚

コロナ禍のなかで、見えてきたこと

～2学期の終業式にあたって～

2020年は大変な年でした。まだ続いているし、気を緩めてはいけない時間は続きます。お互い気をつけていきたいところです。そういう2学期の終業式の話として、「コロナ禍の中で、見えてきたこと。」と題して、校長の講話をしました。

12/18付けの高知新聞のコラム「話題」。「春から飲み会や食事会に行っていないし、県外にも出ていない」といった、医療や福祉関係者の言葉を紹介しながら、春以降我慢を余儀なくされている人の声を取り上げています。一方で新聞やテレビでも、GoTo関係とともに、観光、旅行、宿泊、飲食等の大変厳しい状況をたくさん取り上げています。社会にはいろいろな仕事があり、それぞれの生活があります。正解が1つではないことは、たくさんあります。

だから、私たちがより多面的に見る力や、たくさんの情報の中から正しいもの、自分に必要なものを取捨選択する力が問われています。

それは、まさに本校の学校教育目標「自立・貢献」です。自分で考えて、自分で判断して、自分から行動することです。でも、1つ補足しておきたいのは、そのために大切なことが2つあります。

- ①自分の考えを聞いてもらって、助言してもらえる人をもつこと。そういう人間関係を作ること。
- ②普段から学んでいること。

ふだんから学んでいないと、そして自分で考える習慣がないと、「自立・貢献」に近づけません。これは学校の授業や入試に向けての取組、自分の趣味であったり読書やニュースを見たり、いろんなことがあてはまります。

前段で「正解が1つではないこともある」と述べましたが、コロナ禍のなか、改めてこれは大事にしたいと思われたことがあります。

「人を思いやる気持ち」と「自分を大事にすること」です。感染者を傷つける言葉や行動は人権侵害として絶対に許されないことであり、それに関係するすべての人の心を傷つけます。

また、感染を広めないための心づかい。マスクやソーシャルディスタンス、手洗いと手指消毒、換気をする、室内を適温・適湿度にすること等々。すべて自分と周りの人、みんなのためです。

こういう危機的な社会にあって、この2つは私たちの生き方の基本として、再度、振り返ってみる価値があると思われ終業式の講話としました。

リモートで授業をしました



12月22日(火)の6校時目、総合学習での「蕨岡マップ」の続きの授業では、蕨岡中と高知高専ソーシャルデザイン工学科をスカイプでつないで行いました。

本校から「蕨岡マップ」の紹介をしたり、中野さん(高専5年生)の研究発表を聞いたり、北山先生(高専)の説明を聞いたり、蕨岡地区の石垣の現地調査の打ち合わせをしたりの有意義な時間となりました。

これから現地調査や石垣等の分類を行って、3月11日から、企画展「四万十風景ことはじめ展」がスタートします。(郷土博物館、蕨岡中、高知高専が協力して行います)

1月行事予定

※少し変更になっているので、再掲します。

- 1日(金) 元旦
- 6日(水) 始業式
- 7日(木) 実力テスト
- 8日(金) 公立高校入試A日程願書配布開始
- 11日(月) 成人の日
- 12日(火) SHL [7校時]
- 13日(水) 集会(ゲスト:豊崎由美さん 小島栄子さん)
職員会・校内研
- 14日(木) ALT
- 18日(月) 校内研
- 19日(火) [7校時]
- 21日(木) SC ALT [7校時]
- 22日(金) 英検
- 23日(土) 人権参観日(AM)
蕨岡マップのFW(PM)
- 25日(月) 代休
- 26日(火) 読み聞かせ SHL [7校時]
- 27日(水) 校内研
- 28日(木) ALT [7校時]

1/23(土)は、8:30~11:00人権参観日【講演】、12:30~15:30蕨岡の石垣等の現地調査です。午後についても、保護者の皆様のご協力をお願いしたいと考えております。詳細は、別途配布いたします。

